

調査研究活動実績

氏名 依光晃一郎

今年度は、人口減少社会において、高知県の人口増に関わる政策について、重点的に調査しました。特に雇用を作るためにどういったことをやらなければならないか。また労働者を確保するためにどういった取り組みが必要かという視点を重視しました。

本年度（27年度）の政務調査研究に関する主な活動の実績は次の通りです。

- 1 高知家プロモーションについて
 - ・高知家のスター戦略という視点
 - ・高知家のスターを生み出す教育という視点
 - ・県外進学した大学生のUターン割合という視点
 - ・社会人のUターン就職という視点
 - ・引退された方々への移住支援策という視点
- 2 地域経済分析システムについて
 - ・四国3県への流出超過への対策という視点
 - ・30代の都会からの転入超過の現状という視点
 - ・県境をまたいだ中山間対策という視点
 - ・産業マップの活用策という視点
- 3 物部川の堆積対策について
 - ・永瀬ダムへの土砂の流入量と、河床の高さの公表という視点
 - ・物部川の堆積土砂処理場という視点
- 4 南海トラフ地震対策について
 - ・南海トラフ地震対策におけるアクションカードの活用という視点
 - ・災害訓練の効果的な実施という視点
 - ・南海トラフ地震対策に関わるプロフェッショナル人材の育成という視点

5 中山間地域対策について

- ・小さな集落を守るための施策という視点
- ・集落活動センターの立ち上げという視点
- ・T型集落点検という視点
- ・中山間地域での都市部からの避難者の受け入れという視点
- ・受け入れ側の避難所への支援策という視点
- ・中山間地域の健康寿命の実態調査という視点
- ・健康増進アプリの開発という視点
- ・健康パスポート事業の仕組みづくりという視点
- ・地域にとって重要な病院に対する支援という視点

6 伝統技術の継承について

- ・土佐打ち刃物に関する支援という視点
- ・土佐あかうしを核とした産業クラスターという視点
- ・高知県広域食肉センターという視点
- ・県産材を活用した住宅への補助制度という視点

7 地産外商について

- ・韓国の市場調査という視点（木材の活用、木浦港、釜山新港）
- ・加工食品製造業における物流改革という視点

8 人口減少社会への対応について

- ・地域包括ケアシステムという視点
- ・国民健康保険制度という視点
- ・大学生の地域貢献活動という視点